

世界の平和そして民主主義と立憲主義 草の根の力～野党共闘の実現を目指して(25)

核兵器禁止条約の歓迎行進・広島

「核兵器禁止条約Welcome♪Peaceパレード運営有志の会」は16日、広島市の繁華街で、被爆地ヒロシマから核兵器禁止条約の歓迎と日本政府に条約の批准を求めるアピール宣伝を行いました。被爆者や若者ら約40人が大きな折り鶴や風船などを持ち、鈴を鳴らし、「核兵器っていらんじゃろ」「ほうじゃ(そうだ)、ほうじゃ」などと唱和しながら、平和公園まで元気よく歩きました……と「しんぶん赤旗」(7月17日付)が伝えています。



折り鶴や風船などを持ち、平和公園まで行進する参加者ら(16日、広島市)

14日、国連会議で核兵器禁止条約が採択されました。広島で被爆したサーロー節子さんが国連会議で「この日を70年以上待ち続けていました」と声を詰まらせた姿は、共感と感動を広げたと伝えています。条約には世界の英知が結実し、前文で「ヒバクシャ」や核実験被害者の「容認しがたい苦難と損害」を特記。同時に「市民的良心」を担う「ヒバクシャ」の役割も強調されました。被爆者は、その体験によって人類に警告するとともに、核兵器のない新しい世界を創る担い手でもあります。条約は、被爆者とともに、核兵器全面廃絶へすすむ意思と力を示したと言えます。この条約の採択の日、こともあろうに日本政府は欠席したのです。広島選出の岸田外務大臣の胸中はどうだったのでしょうか？国民の手で条約批准をさせたいですね

90歳 国会議員はどうだろう

主婦 田坂 幸
(愛媛県 90)

90歳になった。いろんなことを次々にやめたら、友人に「何もかも一遍にやめたらボケるよ」と言われた。それもそう。でも、今からの私に何が出来るだろう。

そうだ国会議員はどうだろう。都合の悪いことは全て「記憶にございません」と言えよ。大事な書類は「探しましたが見当たりません」で済む。ちょうど記憶力が減退しつつあり、生来すばらな私には向いていないのか。ただし、ご意向を伺い、付度をする時は少し方向がずれるかもしれないが、これは生まれつきの方

向音痴だから仕方がない。それで問題となれば何とか詭弁で言い逃れよう。昔から政治家たちは詭弁を弄していたらしい。あるいは「怪文書」などと居丈高に言ってみてもいい。

見当たらないと言っていた怪文書が次々に発見されると、「丁寧に説明します」と低姿勢になったところどうまく時間切れ。うやむやとなる。まあ誰か一人ぐらいでも辞任すれば有権者は納得してくれるだろう。こんな政党、政治家でも支持してくれる有権者が結構いるからありがたい。私も当選するかもしれないが、当選したらどうするかはまだ決めていない。

母の願い 大津留公彦

核兵器禁止条約成立す

被爆者母の遺影に報ず

誰も居ぬ「JAPAN」の席に飛び立てぬ

Wish You Were Hereと書かれし折り鶴

悲しきは広島出身の外相の

被爆者の願いに応えぬ詭弁

アメリカの圧力に負けたか

会議にも参加せざりし「唯一の被爆国」

母の願いやっと一步を踏み出すも

核廃絶を拒むものども



ひとりごと

◆上の投書を読めますか？大阪の朝日新聞(7月20日)に載ったそうです。見事な皮肉とユーモアです。母は96歳で今は無理ですが、90歳の時なら書けたかも？ 90歳まで社交ダンスをしていたのですから。◆大津留さんの短歌もお母様を想って創られたと思います。こちらは、核兵器廃止条約の成立した翌週のしんぶん赤旗(7月19日)に載りました。

◆この詩が心に残っていた日の夕方に、党創立95周年記念講演会で志位さんの講演を聞きました。大國が拒否権を発動してばかりいる印象のある国連、一方で大國を除いても素晴らしい条約を採択できたことを知りました。

◆この講演会に行きたくて千葉に住む弟に来てもらい母のケアを頼みました。勇んで早めに家を出たので、開場6時のところ中野駅に5時に着き、喫茶店で珈琲とパンで腹ごしらえ。さてと、店を出ると、なんと店の前まで列ができていました。まっすぐ会場に行つて整理券を貰わなければいけなかったのです。結局、第2会場で聞きました。相変わらず、ドジな私です。

◆不破哲三さんの講演もありました。入党して70年という不破さんの体験を踏まえた党の95年の歴史を話されました。私も青春からの50年を思い起こしながら、感慨深く聴きました。DVDができたら買うつもりです。みなさんもどうぞ。手配しますよ。